

平成23年度

西野々遺跡

—香長中学校武道館建設に伴う発掘調査—

記者発表及び現地説明会資料



日 時：記者発表 平成23年6月23日（木）午前10時～11時
現地説明会 平成23年6月25日（土）午前10時～11時30分

南国市教育委員会

1. 調査に至る経緯と目的

今回の調査は、香長中学校武道館建設工事に伴い、対象地が西野々遺跡の範囲内であるため、事前に発掘調査をして遺跡の内容の記録をとるとともに地域の歴史復元に役立てようとするものです。

2. 遺跡の概要

西野々遺跡は、東西 800m、南北 200mの丘陵裾野の範囲に広がる弥生時代～近世までの複合遺跡で、これまでに高知南国道路建設に伴う調査や、香長中学校校舎改築に伴う調査など数次にわたり発掘調査がされています。弥生時代中期～後期の竪穴住居や古代・中世の掘立柱建物、溝など数多くの遺構が確認されています。

3. 今回の調査の概要

所在地 南国市大埴 2038

調査目的 武道館建設工事に伴う発掘調査

調査面積 748 m²

調査期間 平成 23 年 4 月 18 日～6 月末

調査主体 南国市教育委員会

検出遺構 竪穴住居 13 棟・土坑 9 基・溝 4 条
掘立柱建物 1 棟・ピット 70 以上

出土遺物 弥生土器・須恵器・青磁・土製品・石器・鉄器



西野々遺跡と周辺の主な遺跡

1	西野々遺跡
2	関町田遺跡
3	田村遺跡群
4	里改田遺跡
5	中組遺跡
6	秋葉山南平古墳
7	井川1・2号墳
8	馬背古墳
9	馬背東1・2号墳
10	馬背西古墳
11	丸山古墳
12	坂ノ松古墳
13	丸山五輪塔
14	住吉山1号墳
15	住吉山2号墳
16	住吉山3・4号墳
17	吾岡山古墳
18	吾岡山南遺跡
19	カントリ遺跡
20	大篠遺跡
21	介良野遺跡
22	狸岩1～3号墳
23	明見山1～3号墳
24	竹ノ後遺跡
25	小籠遺跡
26	越戸1・2号墳
27	野中廃寺跡
28	土島田遺跡
29	年越山1～3号墳
30	東崎遺跡

4. 調査の成果

・県内最大規模（復元値）の竪穴住居を確認

調査区東南端で円形の特大型竪穴住居を検出しました。調査区内には全体の1/3ほどしか入っていませんが、柱配置と平面形から復元すると、直径11.5mになります。面積にすると103㎡で約63畳分の広さに相当します。これは、高知県内でこれまで調査された竪穴住居の中では最大規模のものです。

壁際にはベッド状遺構とよばれる床の一部を若干高くした施設を地山を削りだして作っています。

この住居が廃絶された後には、20cm程の河原石が多量に投げ込まれており、石の上面では完形の土器が押しつぶされた形でいくつも出土しました。住居を離れる際にお供え物などを入れていたのでしょうか。

・13棟の竪穴住居を確認

今回の調査では13棟の竪穴住居が確認できました。いずれの住居も出土した土器から弥生時代後期終末頃のものと考えられます。南側で見つかっている住居は少しずつ場所を変えながら何度か建て替えを行なっています。ほとんどの住居の平面形は隅丸方形で、一辺が2m～5m程と様々な大きさのものがあります。

この時期の竪穴住居は大型のものがみられるとともに、小型のものも多く検出される傾向があり、住居の大きさが多様化します。

・河内平野から運ばれてきた土器が出土

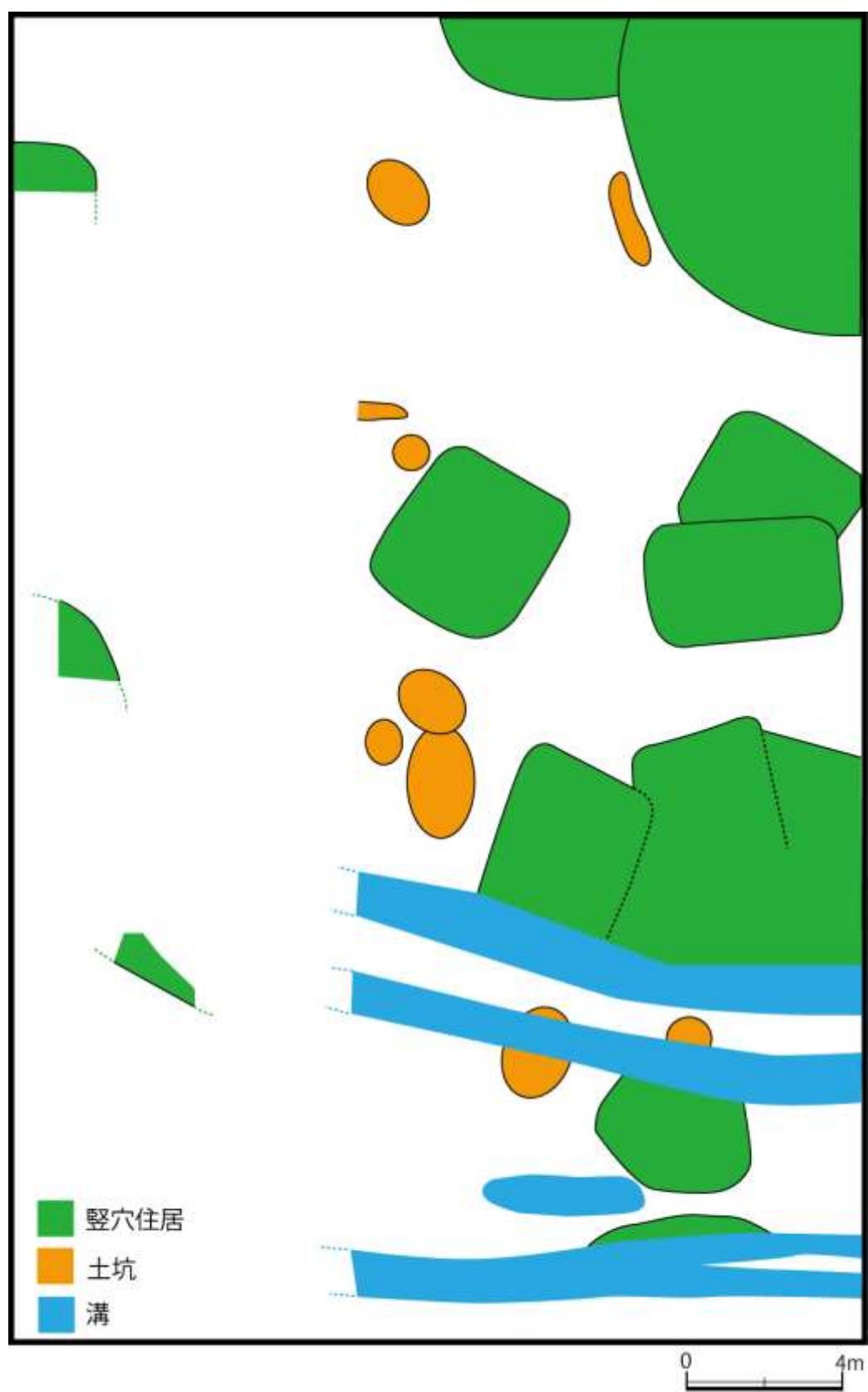
竪穴住居の中から庄内式土器とよばれる河内平野から持ち込まれた土器が出土しました。県内では庄内式土器は高知平野を中心に約20遺跡で出土しており、畿内との関係性を物語っています。

5. おわりに

今回の調査では、主に弥生時代終末期の遺構・遺物を多数検出しました。

弥生時代初めから後期には香長平野では田村遺跡群に多くの住居が営まれ、後期初めには最盛期を誇っていましたが、弥生時代終わり頃には田村遺跡は衰退の一途を辿ります。今回見つかった西野々遺跡の住居群はそうした時期のムラの一つと考えられ、古墳時代に入る手前の高知県の社会情勢を窺い知るための貴重な資料といえます。今後、当時の集落像を復元するための重要な資料として出土した資料を整理していきたいと思っています。

調査にあたっては、多くの方々にご支援・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。また、今後とも文化財調査へのご理解・ご協力をお願いいたします。



西野々遺跡 遺構配置模式図



東調査区完掘状況



特大型住居完掘状況



特大型住居 石・土器出土状況



土製支脚出土状況



竪穴住居完掘状況



竪穴住居完掘状況



竪穴住居内土器出土状況



貯蔵穴土層